

令和4年度 第2回 公共調達監視委員会 議事概要

1 開催日時

令和5年2月1日（水） 午前10時00分～午前11時35分

2 委員会委員

税 理 士 岩佐 誠志
弁 護 士 島内 保彦
大 学 教 授 松村 豊大（委員長）

3 議 事

（1）審査対象抽出

審議対象は8件であり、抽出は行わず全て審議した。

4 抽出案件の審議結果

審議案件について、以下のとおり、各委員との質疑応答等がなされたが、徳島労働局公共調達監視委員会設置要綱第9条に定める委員会から局長に対する「意見の具申又は勧告」は行われなかった。

（1）整理番号2（鴨島宿舎解体工事）について

（委 員） 入札に参加した2社とも予定価格より相当低い額で入札しており、落札率も55%と低くなっている。解体後の産業廃棄について問題は無いのか。

（事務局） 参考見積を取って予算要求を行い、示達された予算額に基づき予定価格を算定している。解体後の産業廃棄も問題なく行えるものと考えている。

（委 員） 地域によっては産業廃棄について安く請負う業者もあるため、予定価格よりも低くなることは有り得るので、やむを得ないと思われる。

（2）整理番号4（鴨島宿舎解体工事設計監理業務）について

①設計監理業務の必要性について

（委 員） 設計監理業務と解体工事を合わせると相当高額になっているが、設計監理業務は必要であるのか。

（事務局） 本省からも、工事を行う場合は、設計監理業務を実施した上で契約するよう指示されている。設計監理業務においては細かい点まで実施してもらっている。

（委 員） 設計監理業務においては、工事の仕様書と併せて数量計算書等の内訳書も作成することとなり、工事を確実にを行うためには設計監理業務は必要なものであると思われる。また、設計費も高くなっているため、契約額も高くなったものと思われる。

②宿舎解体後の敷地の売却方法について

(委員) 宿舎は壊さずに売るのがよかったのではないか。

(事務局) 築50年が経過し、現在入居者はおらず、相当老朽化が進んでおり、屋根等の建物の一部がはがれて隣家の敷地に入る恐れがあったため、早急に取り壊す必要があった。

(3) 整理番号5 (建築設備点検業務委託) について

(委員) 契約金額は100万円以下の軽微な案件であるが、落札者の入札書記載金額内訳書を見ると、各施設とも一律に50,000円となっている。一方、不落者の入札書記載金額内訳書には施設ごとに詳しく金額を記載している。施設ごとに面積や階数も明記されているので、各施設とも一律の金額となるのは簡単すぎると思われる。内訳書を再提出させることによる履行確認が必要と思われる。

(事務局) 業務終了後の確認は、契約者から報告内容により確認している。今後とも、内訳書の内容や履行状況について十分確認することとしたい。

(4) 整理番号8 (AED (自動体外式除細動器) の調達) について

(委員) AEDを導入後、職員に使用方法を説明しているのか。使用方法が分からなければ、いざと言うときに使用できないのではないか。また、AED自体をどのタイミングで使用すればよいのかが分からなければ、導入した意味がないのではないか。

(事務局) AEDを使用しようとする場合、AEDからの音声案内や画面表示により誰でも使用できる機器を導入している。しかしながら、AED自体をどのタイミングで使用すればよいのかを理解している職員は一部であると思われる。職員への研修等は必要と思われるので、今後実施を検討することとしたい。